

紀要第2号発行に際して

北陸学院短期大学が金沢市郊外三小牛町（栄光台）に新築移転してから早や三カ月が経った。

晩秋、冬を呼ぶ山々は真紅の衣を着て日本海の紺碧と相俟って美しき限りである。新校舎の研究室は未だ充分その機能を発揮していないかも知れないけれど、教官各位の熱心な研究が続けられ、今茲に先ず保育科の紀要第2号が出版されることになった。誠に感謝すべきことである。殊に栄光台新校舎落成を祝して献げられたことは意義深いことである。

各地の大学からの研究紀要が多く寄贈されて来ることは互に慶賀すべきことである。これら多くの学究の方々の上に祝福を祈りつつ本紀要発刊の挨拶にしたい。

1967. 11. 26

北陸学院短期大学学長

番 匠 鉄 雄